

CRUSADERS 2020



南山大学体育会
アメリカンフットボール部

ニューノーマルの時代に 適応するチームに

平素はCRUSADERSに温かいご声援、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響が世界中に広がりを見せる状況の中、当チームの活動も3月以降は学内への入構は禁じられ、個人での練習が8月まで続けました。日本アメリカンフットボール協会(JAFA)が作成した「活動の再開に向けたガイドライン」に準じて当チームでも独自のガイドラインを策定。大学とも連携し、入念な感染防止対策を講じた上で9月3日から学内での活動を再開しています。

一方で秋シーズンの開催方法については、東海学生アメリカンフットボール連盟と各大学間で協議を重ねてきました。最終的に10月以降のトーナメントでの開催となり、入替戦は実施されません。2020CRUSADERSは2部8チームのトーナメントでの優勝を目指して戦います。

昨シーズンの入替戦に敗れ、1部昇格を果たせなかった私たちにとって、この決定は厳しいものでした。そのような中でも、4回生が状況を整理して話し合い「目標が変わってもスローガンに掲げた考えに立ち戻り、やるべきことは変えない」と宣言し、前を向いて進んでいることに芯の強さを感じています。

入替戦のない今シーズンのトーナメントでどれだけ「価値の高い試合」ができるかが重要になります。勝利を目指して学生達が全力で取り組むことはもちろんですが、その「価値の高い試合」を作るのは、学生達の頑張りを支える私たちの仕事でもあると考えます。

南山大学アメリカンフットボール部

監督 加賀 穰次

2002年 南山大学アメリカンフットボール部入部
2005年 副将 東海学生リーグ優勝
2014年 監督就任



コロナウイルスによって人々の価値観は大きく変わり、CRUSADERSでフットボールをすることの価値そのものが問われています。

これからのニューノーマルの時代に合ったCRUSADERSらしいスタイルを追求し、学生達にここでしかできない経験を与えていきたい。OB・OGの皆さんには現状を共有し、私たちのふるさとであるCRUSADERSのためにできることを一緒に考えていきたい。

私自身が学生とOB・OGの皆さんとの架け橋となり、CRUSADERSをニューノーマルの時代に適応するチームに進化させていくという覚悟を持って今シーズン臨みます。

変わらぬご声援、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



【加賀穰次プロフィール】

2002年南山大学アメリカンフットボール部に入部。2回生からDLでレギュラー。3回生はDLパトリリーダー、4回生では副将としてチームを牽引し、4回生の2005年には東海リーグ優勝に貢献。2006年には卒業後からすぐにDFコーチとなり、2011年から3年間はヘッドコーチ。2014年からは監督に就任し7シーズン目を迎える。

スタッフ2020



加賀穰次
監督



近藤賢一
ヘッドコーチ



今井良和
トータル
コーディネーター



水野信耶
オフェンスコーチ



水田大貴
オフェンスコーチ



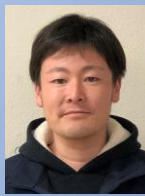
浅井将人
オフェンスコーチ



上村朋也
オフェンスコーチ



浅見裕介
ディフェンスコーチ



高倉宏文
ディフェンスコーチ



内田文太
ディフェンスコーチ



西智也
ディフェンスコーチ



押部教行
キッキングコーチ



真置林現
キッキングコーチ

トレーナー



天野敦之
トレーナー

連盟スタッフ



竹内健人
常任理事 兼
審判部



森本法美
常任理事



岡村雄一
審判部



戸ヶ里信彦
審判部



大山信二
審判部



河村智一
審判部



橋本龍司
審判部



水谷光宏
理事



沖颯
理事

幹部メンバー紹介



主将 吉田 直樹

20CRUSADERS発足時はチームスローガンである「Action」を掲げ、どこまでやれば勝てるか分からない、だからこそ全てを全力でやり続けることが1部昇格という目標を達成するための道だと考えていました。しかしながら、今シーズンは新型コロナウイルスの影響により、リーグの昇降格が行われないことが決まっています。2月末から9月に到るまで半年以上練習の自粛も余儀なくされてきました。たとえ1部昇格ができなくとも、我々は秋のトーナメントで優勝することが来年以降のCRUSADERSを築いていく上で重要な意味があると考えています。試合に勝つ感覚を身につけることや、チームに勢いをつけて来年にのぞむために優勝を目指します。そして4回生は最後の試合であり、今までの取り組みを証明する場となります。1部昇格ができないのは非常に残念ですが、最後まで全力で戦い続けることがこれまでお世話になった方々への我々からの恩返しだと考えています。目標を「1部昇格」から「トーナメント優勝」に変えたとしても、チームとしてやることは変わりません。感染対策上、制限がある中でも一人一人ができることを全力でやり続け、そして秋のトーナメントでは優勝を目指します。今後とも20CRUSADERSへのご支援、ご声援よろしくお願いいたします。

20CRUSADERSは『一部昇格』を目標としておりましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により例年とは違う形で秋季試合が行われることとなり、一部昇格の夢は破れてしまいました。また、感染拡大に伴い課外活動の禁止期間があり、最後の一年を思う存分に活動をできず、とても悔しいです。ですが、秋季試合が開催すると決まったからには、立ち止まってはられないため、私たちCRUSADERSは2部での優勝を目標に活動して参ります。今年度の秋季試合はトーナメント戦であり、入替戦も行われません。また、課外活動を行うにも制限があり、例年とは違う新たな様式に戸惑いや不安はありますが、自分達に今できることは何かを、スローガンであるActionを元に、チームが一つでも成長できるよう、部員全員で考え続けていきます。4回生としては一部昇格を果たせないことがとても悔しいですが、一部昇格の夢は後輩達に託し、今シーズンは来年以降のCRUSADERSにとって価値のある試合となるよう、部員一同全力で取り組んでまいります。また、このようなご時世の中、課外活動をさせてもらえること、試合をさせてもらえることに感謝をし活動して参ります。今後とも変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願い致します。



主務 鈴木 雅



副将 辻 柁矢

昨年度はオフェンスリーダーとして思うような結果を残すことができず、不甲斐ない形で終わってしまいました。しかし、リーダーとしてあるべき姿であり続けること、人を動かすこと、人に考えさせることの難しさ、大切さを学びました。今年はこれまでの経験を活かし、副将としてチームを引っ張っていき、幹部からActionを体現していきます。そして、チーム全員が自分なりのMy Actionを持ち、最後まで全力でやり切ります。今年、自分たちの代で1部昇格という目標を叶えることができないのは非常に残念です。しかし、何事にも前向きに取り組み、トーナメント優勝という今できる最高の形で終えたいと思っています。そのうえで、来年必ず1部昇格を果たせるチームを目指していきます。また、様々な方に応援され、誰が見ても本気であると思われるチームを作り上げるという気持ちも変わらず持ち続け、良い意味で印象に残るチームを作り上げます。今後とも熱いご声援をよろしくお願いいたします。

昨年度はあと一步のところで悔しい結果に終わり、一部昇格とはなりませんでしたが。一人一人が主体性を持って動くため、Actionをスローガンに掲げ、新チームが動き始めました。しかしそれも束の間、新型コロナウイルスの影響から困難な状況に立たされました。春シーズンはチームとしての活動が禁止され、秋シーズンも段階的な練習再開、昇降格のない試合が行われることになりました。一部昇格は道半ばで途絶えてしまいましたが、一人一人が自分にとってアメリカンフットボールとは何か、CRUSADERSとはどんな存在なのか、見つめ直すことになったと思います。自分含め4回生は勝利のためにActionを続けていく姿勢こそが4年間の答え合わせ、この先のチームの未来に繋がります。今後誰も経験しないであろう今シーズンの状況を、副将として有意義なものにできるよう、全力でアメフトを楽しみ、苦しい時にも、アメフトができる喜びを忘れずに1番にチームを鼓舞していきたいと思っています。今後ともご支援、ご声援をよろしくお願い致します。



副将 松井 秀造

ユニットリーダーメンバー紹介



昨シーズンのDFは、止め切るべき時に止め切ることが出来ず、2部残留という結果に終わってしまいました。また、DFユニット全体が、それぞれのパートごとへ管見であり、ユニットとしてそれぞれのパートへの責任転嫁が多く見られました。それらを踏まえ、今年のDFのスローガンを「Be aggressive」と掲げました。このスローガンを掲げるからには、今年のDFは、常に前からの姿勢でプレイし、お互いに意見を言い合い、技術、知識を全員で高め合っていくことで、言葉通り攻撃的なDFユニットを作り上げます。今年のDFユニットは前年度から試合を経験した選手がほとんどであるため、より完成度の高いユニットにしていきます。各パートリーダーと共にDFを盛り上げ、DFからチームを牽引することで、優勝へと導きます。今後ともご声援よろしくお願いします。

ディフェンスリーダー 佐藤優汰郎

キックは、昨シーズン「こだわり」というスローガンを掲げ1年間取り組んできました。試合でのすべてのキックにおいて、ひとりひとりが役割を理解して実行することへのこだわりは良くなっていると感じました。しかし、昨シーズンキックでのプレイにおいて目立ったプレイや流れを変えるようなBIGプレイはなかったと思っています。これではオフェンス・ディフェンスが拮抗していて、苦しい場面に試合の流れを自分たちのものにすることはできません。今シーズン、キックがチームの勝利に大きく貢献するために何をすべきかをリーダーを中心にミーティングを重ねました。そこでキックで少しでも自分のチームを優位に立たせることができれば勝利に繋がれると考えました。キックで点を取ることを目指すのはもちろん、自チームのオフェンス・ディフェンスのミスのカバーしたり、優位なポジションからオフェンス・ディフェンスをスタートさせることでチームを「アシスト」することができていると思っています。今シーズンは「アシスト」をスローガンに1年間取り組んでいきます。



キックリーダー 鈴木一路



今年のオフェンスのスローガンは「Break」です。昨年は一部昇格という目標を果たすことができず、オフェンスとしても個人としても不甲斐ない結果で終わってしまいました。今年こそオフェンスが変わらなければならぬため、全員がプレイに対して突きつめていき、今まで以上な取り組みでオフェンスを変えていくという意味がスローガンに込められています。また、今年は機動力のあるオフェンスを作り上げ、1プレイに対して全員が全力で走り切り、スピード感のあるオフェンスにします。一人一人が1プレイに対して真剣に考え、全員が意見を言い合い、こだわっていきます。また、個人としてもQBとしてオフェンスを引っ張っていくためにも自分が1番やりきり、常に全力を心がけ、プレイでも引っ張っていきます。そして「今年のオフェンスは変わった」と言っていただけるようなユニットに必ずします。

オフェンスリーダー 海野暢生

SENIOR (4 回生)



RB #6

ありまだいき
有馬大貴



DB #10

たかさきじゅんぺい
高崎順平



DB #14

いしばしたくや
石橋拓也



WR #15

ながともよしひろ
長友祥浩



DB #18

すずきひろと
鈴木寛人



RB #26

ほりえこうた
堀江剛太



DB #34

まついしゅうぞう
松井秀造



OL #50

つじまさや
辻 柊矢

プロフィール



OL #55

はしもとぎんじ
橋本銀司



DL #69

やまだゆうたろう
山田優太郎



DL #76

よしだなおき
吉田直樹



STAFF

あおやまさひで
青山雅英



AS #06

おかちさと
岡知里



AS #10

あきやまたくみ
秋山拓海



TR #019

さわむらほのか
澤村ほのか



MG #022

おきもとまひろ
沖本万尋



AS #028

じんどうみずき
神藤瑞季



MG #038

すずきみやび
鈴木雅



TR #044

おのだあい
小野田あい

JUNIOR (3 回生)



LB #1

すずきいちろ
鈴木一路



LB #2

うえばたつや
上馬場達哉



RB #7

おやかいせい
大矢海世



WR #13

あんどうそうま
安藤颯馬



QB #19

うんのみつき
海野暢生



RB #20

すだりょうた
須田峻太



LB #51

さとうゆうたろう
佐藤優汰郎



DL #52

いわせけいや
岩瀬慶哉

プロフィール



OL #57

ながなわたくみ
永縄巧



OL #64

さわだりょうすけ
澤田凌佑



DL #78

やまうちえいた
山内瑛太



WR #85

きよさきとうま
清崎冬馬



MG #07

まえだまりな
前田万里奈



TR #012

たかはしすず
高橋珠



AS #018

こじまあゆみ
小島歩実



AS #024

にしがきかな
西垣佳菜



MG #025

おさだまみ
長田真美



AS #046

よろずやひなの
萬屋ひなの



AS #082

たけうちみほ
竹内美帆

SOPHPMORE (2回生)



DB #8

おにしゅうま
尾西優駿



WR #11

いまたつや
今井達也



RB #21

あかおかくと
赤岡拓都



DB #23

なかしましゅうと
中島秀斗



RB #24

とみたれお
富田怜央



WR #33

いまむらりゅうき
今村竜暉



LB #41

にみりゅうのすけ
新美龍之助



LB #44

ほりうちゆうた
堀内雄太

プロフィール



OL #73

いけどひろまさ
池戸宏匡



DL #99

さわだゆうすけ
澤田雄介



AS #08

もたいりきや
母袋利輝也



DEFENSE UNIT

DEFENSE SLOGAN
「Be aggressive」

DEFENSE

LINE

4 回生	# 76	吉田直樹
4 回生	# 69	山田優太郎
3 回生	# 52	岩瀬慶哉
3 回生	# 78	山内瑛太
2 回生	# 53	Victor Kjærgaard Vilner
2 回生	# 99	澤田雄介



DLパートリーダー #52 岩瀬慶哉

DLは、ディフェンスの最前線でOLと激しくぶつかり合うポジションです。ランプレーの時には、OLのブロックを破壊し常にロスタックルを狙います。またパスプレーの時には、パワー、スピード、テクニックの全てを駆使してQBサックを狙います。強靱な肉体で繰り広げる激しいプレイで相手オフェンスを翻弄し、会場全体を盛り上げることの出来るポジションです。

LINE

BACKER

3 回生	# 1	鈴木一路
3 回生	# 2	上馬場達哉
3 回生	# 51	佐藤優汰郎
2 回生	# 41	新美龍之助
2 回生	# 44	堀内雄太



LBパートリーダー #51 佐藤優太郎

LBは基本的にDFの2列目に存在し、ランプレー、パスプレー両方に参加します。そのため、オフェンスラインと戦うパワー、レシーバー、ランニングバックに負けないスピード両方が必要なポジションです。また、DFの中心に位置し、ボールキャリアにタックル、パスカバーをしたりするなど相手オフェンスの全プレーに絡む、DFの司令塔でもある花形のポジションです。

DEFENSE BACK

4 回生	# 10	高崎順平
4 回生	# 14	石橋拓也
4 回生	# 18	鈴木寛人
4 回生	# 34	松井秀造
2 回生	# 8	尾西優駿
2 回生	# 23	中島秀斗



DBパートリーダー #10 高崎順平

DB（ディフェンスバック）は、ディフェンスの1番後ろに位置し、主にパスプレーを守るポジションです。DBの後ろには誰もいないので、ランプレーにしてもパスプレーにしてもDBを突破されるとタッチダウンとなり得点を許すことになる為、それだけ責任が重いポジションです。その分、WR（ワイドレシーバー）との1対1の駆け引きに勝った時や、インターセプトした時は、試合の流れを掴みチームに良い流れを持つことができます。



OFFENSE UNIT

OFFENSE SLOGAN
「Break」

OFFENSE

LINE

4 回生	# 50	辻 柁矢
4 回生	# 55	橋本 銀司
3 回生	# 57	永縄 巧
3 回生	# 64	澤田 凌佑
2 回生	# 73	池戸 宏匡



OLパートリーダー #57 永縄 巧

OL(オフENSEライン)は、全ポジションの中でも最もチームワークを大事にするポジションです。ランプレーでは、走る道を開ける。パスプレーでは、QB(クォーターバック)を守る。これらは全て1人1人が自分の動きを理解し、臨機応変にDFに対応するため仲間との信頼関係が大事になってきます。その上で、プレーへの知識と身体の強さを要求されるポジションであり簡単ではありません。しかし、これらは全て努力で補うことができます。最も才能に左右されないポジションです。QBが脳ならOLは心臓ぐらい大事なポジションになります。

RUNNING

BACK

4 回生	# 6	有馬 大貴
4 回生	# 26	堀江 剛太
3 回生	# 7	大矢 海世
3 回生	# 20	須田 峻太
2 回生	# 21	赤岡 拓都
2 回生	# 24	富田 怜央



RBパートリーダー #7 大矢 海世

RBは、主に司令塔のQBからボールを直接もらいオフェンス全員が開けてくれた道走り抜けたり、敵との駆け引きでかわしたり、吹き飛ばしたりと、とても注目度の高いポジションです。パスプレーのときには、OLと一緒に敵をブロックし、パスをするQBを守ります。ときには、WRのようにパスコースを走りパスをキャッチするときもあります。また、ボールを持つ時間が1番長いポジションなので誰よりもボールの扱いに敏感に気を配ります。さらに、タックルされても倒れない強靱な体や素早いステップワークなどがこのポジションのキーになります。

WIDE RECEIVER

4 回生	# 15	長友祥浩
3 回生	# 13	安藤颯馬
3 回生	# 85	清崎冬馬
2 回生	# 33	今村竜暉
2 回生	# 11	今井達也



WRパートリーダー #13 安藤颯馬

WR（ワイドレシーバー）は、試合の流れを一気に変えることができるアメフトの花形のポジションです。QB（クォーターバック）からのパスを正確にキャッチする能力、エンドゾーンまで走り去る足の速さ、相手をかかわすクイックネス、DB（ディフェンスバック）との1対1での駆け引きなど、求められることは多岐にわたります。そして一発のパスキャッチが試合の勝敗に大きく影響します。それゆえ責任感あるポジションであり、その分チームへの貢献度は偉大です。目に見える形で、試合で活躍したい人には最適のポジションです。

QUARTER BACK

4 回生	# 15	長友祥浩
3 回生	# 19	海野暢生



QBパートリーダー #19 海野暢生

QBはオフェンスの司令塔であり、とても目立つポジションです。RBに正確なハンドオフでボールを渡すことや、WRにパスを投げる、時には自ら走るなど様々なプレーで魅せることができるポジションです。また、アメフトの知識がとても必要であり、誰よりもアメフトを知っていなければならないポジションです。とても難しいポジションではあり、オフェンスはQB次第で強くも弱くもなりますが、活躍する場はとても多くてとてもやりがいがあるポジションです。

ポジション紹介



STAFF



Manager



Trainer



Analyzing staff

MANAGER

- 4 回生 # 022 沖本万尋
- 4 回生 # 038 鈴木雅
- 3 回生 # 07 前田万里奈
- 3 回生 # 025 長田真美



MGパートリーダー #07 前田万里奈

マネージャーは、チームの活動における運營業務全般を担っており、主に広報・学生連盟・会計・大学関連を担当で分けて仕事を行っています。グラウンドでは、練習の時間管理やグラウンド近辺の監視、ドリンクの補充等を行っています。マネージャーが携わる全ての仕事は、チーム運営をしていく中で重要です。また、OB・OG、保護者の方々、企業の方々など、外部と関わる機会が1番多いパートであるため、ある意味では「チームの顔」であるという自覚と責任を持ち、「チーム運営のエキスパート」として日々活動していきます。

TRAINER

- 4 回生 # 019 澤村ほのか
- 4 回生 # 044 小野田あい
- 3 回生 # 012 高橋珠



TRパートリーダー #012 高橋珠

TRはプレイヤーの身体面に関わるサポートをしています。怪我の処置やリハビリのサポート、トレーニングの指導や体重管理などを行い、プレイヤーが練習や試合で最も良いパフォーマンスができるように日々努めています。今年は個々の目標達成、そしてチーム全体のフィジカルアップに繋がるよう、トレーニングメニューを根底から見直しています。また、ウェイト数値の向上と、怪我をしない身体づくりをプレイヤーと共に目指します。私たち自身も様々な角度から情報を入手し、プレイヤーにフィードバックできるような知識を身に付けていきます。

ANALYZING STAFF

4 回生	# 06	岡知里
4 回生	# 010	秋山拓海
4 回生	# 028	神藤瑞季
3 回生	# 018	小島歩実
3 回生	# 024	西垣佳菜
3 回生	# 046	萬屋ひなの
3 回生	# 082	竹内美帆
2 回生	# 08	母袋利輝也



ASパートリーダー #018 小島歩実

アナライジングスタッフは、オフェンス・ディフェンス・キックチームに分かれて普段の練習では対戦校の分析を行い、試合中はフィールド上の情報を正確にプレイヤーやコーチに提供するなど、チームを勝利に導くためにさまざまな活動をしています。戦略に関わる立場にあるため責任は大きいですが、その分やりがいや達成感も大きいです！アメフトは知れば知るほど面白いスポーツです。楽しくアメフトを学び、得た知識を生かして活躍できるパートです！

メッセージ

南山大学アメリカンフットボール部 OB/OG会会長 谷口浩司 (南山大学79年卒)

日頃はCRUSADERSに多大なるご支援・ご声援・ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は人工芝グラウンドが完成しこれからより良い環境で練習ができると思っていました矢先、未曾有のパンデミックが世界中を飲み込んで、何をどうしてよいかわからず団体としての活動が思うようにできないまま時が進むような日々が続いております。

このような体験は自分のもとより大学の75年になろうとする歴史の中でも初めての状況



です。6月半ばを過ぎスポーツ界ではプロ野球がやっとのこと開催されたくらいで、フルコンタクトのスポーツは中々抵抗があるように思ってしまうがちですが、体調チェック(体温、体調申告)と手指の消毒(通学途中の保菌をぬぐう)で練習に入れば、保菌者でない者同士のコンタクトでも問題はないと思います。世間では様々な情報が飛び交っておりまた新種のウィルスのため未知の部分が多く困惑することもあるのですが、基本的な衛生知識とこの病気に対する最低限の注意事項を守れば恐れることはないと思っています。

ただし、これは今までの練習とは別にきちんと習慣付けることを求められるので全員の意識レベルを上げておかないといけないと思います。

この長い自粛期間は故障者にとってはじっくりとリカバリーする期間というとらえ方もあります。その反面、これだけ長い期間ブロックなど当たりの練習がないと短時間での体づくりは難しく秋季トーナメントは心配になります。

現役幹部、特に4年生は大変な経験をするようになってしまいましたが、逆境は人を強くするわけですので、今できる最善を積み重ねてほしいと思います。

末筆になりましたが、CRUSADERSを取り巻くすべての方々がこの難関に負けないようご健勝でご活躍できることをご祈念申し上げます。

主将 保護者からのメッセージ

CRUSADERSの関係者の皆様、大変お世話になっております。
南山大学に入学し、熱心に練習に取り組む先輩が格好良くて、アメフト部に入部しました。OBOGの方々のサポートがあり、先輩方、スタッフさんのアドバイスを頂いて、たくさん食べて練習をして体重は100kgを超え、毎日とても楽しくアメフト生活を送ってきました。

2020年はコロナ禍で生活は一変、家に居る時間が長くなり、料理をしたりしていました。新聞にミーティング力の重要性についての記事を見たことがあります。毎日のようにあったオンラインミーティングで成果があるといいですね。

今シーズンは特例な年になりましたが、CRUSADERSの試合があればできるだけ応援に行きたいです。選手の皆さん怪我に気をつけて練習を頑張ってください。



吉田直樹の母 吉田幸江

編集後記

今年度の私たちのチームスローガンは「Action」です。

私たちCRUSADERS一同は、日頃から自らのActionにこだわることで、応援してくださる保護者やOB・OG、大学関係者の皆様、地域の皆様と今まで以上に強い信頼を築きたいと考えております。広報部は、イヤブックがその手段の一つとなることを目標に作成してまいりました。

イヤブックを通して、皆様にCRUSADERSをより一層知っていただき、秋季トーナメント戦をともに戦い抜きたいと思っています。

今後ともCRUSADERSをよろしくお願い致します。

Action



南山大学学生歌

清麗八事の山近く

緑にしげき松の風

仰いで高き青空よ

正しき心の若人が

自由と平和を守り行く

ほまれはここに我が南山

輝く母校

おお我が南山

CRUSADERS